

[003]鷹・鷹場・環境研究

<https://hdl.handle.net/2324/2236355>

出版情報：鷹・鷹場・環境研究. 3, 2019-03-22. Faculty of Art and Science, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

〔編集後記〕

『鷹・鷹場・環境研究』3号をお届けいたします。本号では、論文6本、資料紹介2本、書評3本、史料紹介1本を掲載することができました。科研も3年目となり、大変充実した号になったと自負しております。ご寄稿いただきました三保忠夫氏（神戸女子大学名誉教授）、およびウェストン ビクトリア氏（マサチューセッツ大学ボストン校 准教授）には、心より御礼を申し上げます。また、ご執筆いただきました研究会メンバーの方々にも、御礼申し上げます。

本号では、16世紀から17世紀にかけての鷹狩の大流行とその後の伝統化について、多角的・実証的に分析を進めることができました。さらに、これまで課題としていた環境問題へと議論を発展させることができたことは大きな前進であったと考えております。また、宮内庁の鴨堀の調査や釧路での鶴観察などのフィールドワークにより、議論のための共通した土台が蓄積されつつあることを実感いたします。4年目に向けて、さらに研究を深めて参りたいと考えております。

ところで、今年度は天災続きの年でした。9月に予定されていた韓国調査も、大型台風の関西直撃により、まさかの関西空港閉鎖という事態に陥り、2名の方の調査参加ができませんでした。韓国で予定していたシンポジウムも様々な事情で延期となり、国際交流のむずかしさを実感させられました。しかしながら、韓国の鷹匠の方々との交流を深めることができたことは、次年度にむけてよい一歩を踏み出すことができたと考えております。2019年度は国際シンポジウム、第2次モンゴル調査隊の実現に向けて進めていきたいと思っております。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。また、ご意見・ご感想、様々な情報など、ぜひともお寄せいただけますと幸いです（ち）。

鷹・鷹場・環境研究 Vol.3 2019年3月22日発行

編集 鷹・鷹場・環境研究会

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

九州大学基幹教育院福田研究室 Phone: (092) 802-6019

発行 九州大学基幹教育院

印刷 (株)ミドリ印刷

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6-17-12 Phone: (092) 292-0300 (代表)

The Journal of Hawks, Hawking Grounds, and Environment Studies Vol.3

Published in March 22, 2019

Edited by the Society for Hawks, Hawking Grounds, and Environment Studies

Office:3404, Faculty of Arts and Science, Kyushu University

744, Motooka, Nishi-ku, Fukuoka, 819-0395, Japan

E-mail:fukuda.c@artsci.kyushu-u.ac.jp Phone:+81 92-802-6019